

高校生による気候変動学習プログラム

<趣旨・目的>

令和元年度より、総合地球環境学研究所及び京都市と連携し、府内の高校生を対象に、気候変動に関する専門家の方々の講演等を通じて最先端の知見に触れる機会を提供し、生徒の気候変動に関する理解の促進や行動変容に繋げることを目的とした学習プログラムを実施しています。

<令和4年度の実施概要>

1 勉強会の開催

令和4年度は19名の府内の高校生が参加し、6月から8月の間、集中的に全3回の気候変動に関するオンライン勉強会（講義や他校との交流）を開催。気候変動に関する専門家の方々との双方向のコミュニケーションを通じて、気候変動について理解を深めました。



勉強会の様子

- 第1回（6月14日）：テーマ「地球温暖化問題や気候変動の基礎」
（講師）京都府地球温暖化防止活動推進センター 副センター長
総合地球環境学研究所 客員准教授 木原 浩貴 氏



- 第2回（7月14日）：テーマ「気候の危機と社会の大転換」
（講師）東京大学未来ビジョン研究センター 教授 江守 正多 氏



- 第3回（8月12日）：テーマ「気候変動の真実/気候正義という問い」
（講師）京都大学 大学院地球環境学堂 教授 宇佐美 誠 氏



2 ビデオメッセージの作成

全3回の学習プログラムを通じて学んだことや、学びを活かして今後実践したい具体的行動・提案等について、グループに分かれて英語でビデオメッセージを作成しました。学習プログラムの内容やビデオメッセージは、英訳もされた専用ホームページ等で世界に発信しています。

3 国際シンポジウムへの登壇

令和4年11月14日に国立京都国際会館で開催された第13回「KYOTO地球環境の殿堂」表彰式・「京都環境文化学術フォーラム」国際シンポジウムにおいて、本プログラムに参加した生徒のうち5名が登壇し、「KYOTO地球環境の殿堂」殿堂入り者とのトークセッションを実施しました。



令和4年度京都環境文化学術フォーラム
国際シンポジウム登壇の様子